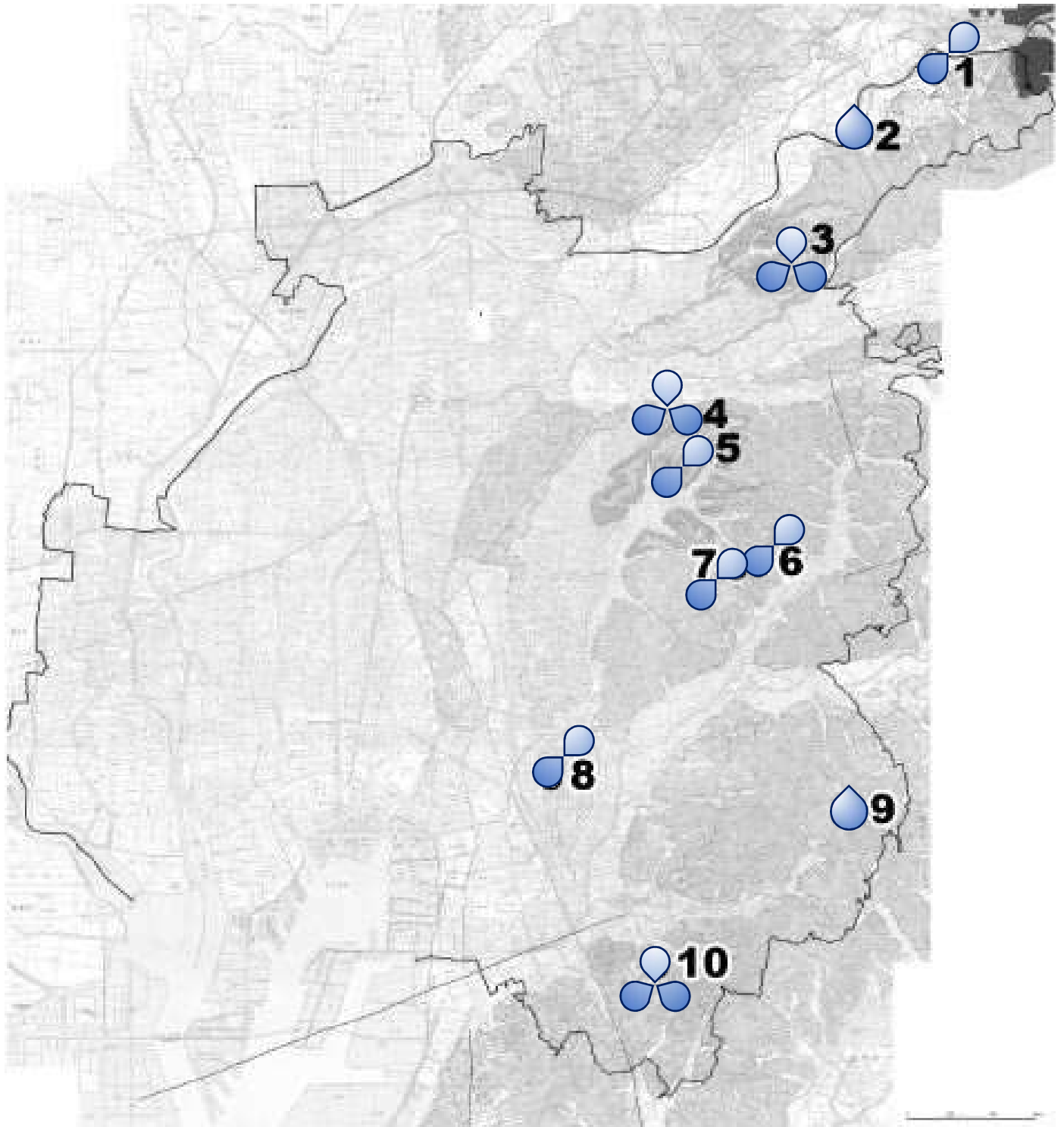


令和3年度秋季結果まとめ

No.	地点名	調査日	調査時刻	気温 (℃)	天気			水量			水温 (℃)	pH	COD (mg/L)	硝酸態窒素 (mg/L)	鉄 (mg/L)	マンガン (mg/L)
					当日	前日	前々日			計量できる場合 (mL/min)						
1	中志段味	10月9日	8:30	23.5	晴	晴	晴	2	小流れ	—	18.0	5.5	2	0.5	0.2	0.5以下
2	吉根	11月20日	11:28	17.5	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	16	17.3	6.0	2	0.2以下	0.2以下	0.5以下
3	小幡緑地	10月30日	13:10	15.5	晴のち 時々薄曇	快晴	快晴	1	多量	3,750	11.5	7.0	4	0.2以下	0.2以下	0.5以下
4	茶屋が坂	9月16日	12:10	24.0	曇時々晴	晴時々曇	曇	1	多量	13,636	20.8	7.0	3	1.5	5	0.5
5	本山	11月1日	13:25	23.0	晴	雨のち晴	晴のち 時々薄曇	2	小流れ	2,222	18.0	6.0	2	2.0	0.3	0.5以下
6	東山	11月17日	10:30	13.5	晴	晴	晴	2	小流れ	800	15.0	5.5	0	0.2以下	0.2以下	0.5以下
7	八事裏山	11月13日	13:50	13.6	晴	晴のち曇	晴	2	小流れ	65	12.6	6.2	4	0.2以下	0.2以下	0.5以下
8	呼続	10月17日	11:10	22.8	晴	晴	曇	2	小流れ	1,800	18.5	7.0	6	0.5	0.2	0.5
9	神の倉	11月15日	10:40	16.0	晴	晴	曇	3	しみ出し 程度	測定不能	14.9	6.5	0	0.2	0.2	0.5以下
10	大高	11月11日	8:30	13.6	晴	晴	雨のち晴	1	多量	4,285	16.5	5.0	3	1.0	0.2	0.5

No.	地点名	コメント
1	中志段味	・トンボシオカラ ・キチョウチョ ・蚊が多い ・上流の川もずくなくなった ・水路に木がかぶさりミクリ少なくなった。
2	吉根	・水温は、気温とほぼ同じ状況となっている。 ・藻は、水量がごくわずかであるため、繁茂しやすい状況で、やや悪臭が感じられた。10月から11月にかけて少雨であるため、流量が前回よりも少なくなっていると思われます。 ・今期の水量も前と同じように少なく、堰き止めても越流するだけの水圧がなく、一定の水位上昇が見られる程度である。堰き止めても、見た目で水位が上がる感じは緩やかで、定規等で確認できる状況です。 ・水位の上昇にかかる時間を流量として計算した。
3	小幡緑地	今回は初めて午後からの調査でしたが、数値に特段の特徴は見られませんでした。 好天が続いていたためか、水量はやや少なめでした。 木々の葉が色づいていて、市内の他の場所よりは紅葉が進んでいる印象でした。 コーンが離れたところに移されてましたので戻しておきました。少し破損していました。 集水箇所は落ち葉が取り除かれ、久しぶりに配管が見通せる状態でした。 ゴミなどは見当りませんでした。
4	茶屋が坂	—
5	本山	・水が湧き出るところから少し下の方を見ると、水が多く流れているように見えた。 ・いつものパックテストの簡易調査の時と少し変わった数値が出たものもあった。 ・水路にはコケが沢山ついていた。
6	東山	—
7	八事裏山	林道は以前より乾いており、落葉が散乱していた。落ち葉の量は少なかった。湧水地点からの流れは夏季より弱くなり、ほぼ止水域と同様だった。底面が落葉によって形成されていたのは同じだが、泥をすくってもヤゴ等の水生生物は確認できなかった。なお、果実の皮は確認できた。また、水の落下音が聞こえ、濁りはなかった。周囲の草には刈り取られた跡があった。観察できたのはササやコケ、ドングリだ。
8	呼続	・晴れが続く日を選んで調査へ出かけたが、夏(前回)より流れる水量が多いと感じた。 ・パックテスト、記録用紙の送付ありがとうございました。 ・湧水調査のおかげで家族で呼続公園までお散歩するきっかけになり、環境に関する会話が増えました。
9	神の倉	＜湧水量について＞ 今回はこれまでで最も湧水量が多く、湧水部Aからは水滴が絶え間なく(毎秒2-3滴)落ちるのが確認できた。計測日前の数日間の降水量が今回特に多いということとはなく何故これほど湧水量が増えたのか不思議である。それから、これまで堰の左側からの水の流出はごく少量であり、湧水量が多いときは堰からオーバーフローして流れ出るものと思っていたが、今回は堰の左側からの流出量も多く流れ出る音が聞こえるほどで、水位の増加は見られない。流出量が非常に少なかった前回8/11の時と水位が同程度である点から、堰の左側からの流出量が大きく増加したのは明らかだが、原因は不明である。 ＜水温について＞ 今回は外気温との差が最も小さかった。水の湧水量は多かったとはいえ、温度差に影響が出るほどではないので、この日の外気温がたまたま水温に近かったためかもしれない。 
10	大高	白玉星草自生地でもあり、少数ですがサギ草も自生しています。



 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし